

第28回日本植生史学会大会 (高知大会)



最終氷期最寒冷期の西南日本の森のイメージ 北海道・利尻島の針広混交林

最終氷期最寒冷期の 西南日本の森を考える —植物化石とDNAからさぐる古植生研究の最前線—

11月30日(土) 13:00-17:00 **参加費無料**

公開シンポジウム「最終氷期最寒冷期の西南日本の森を考える」

話題1 最寒冷期っていつごろ？—その年代と環境、そしてヒトの動き—

話題2 寒冷地と温暖地の植物はどのように分布していた？ —東北日本から西南日本の種実化石から—

話題3 西南日本にはどんな森があった？—花粉化石からわかってきたこと—

話題4 “レフュージア” ってなに？—現生種のDNAから最寒冷期の温帯性植物の分布をさぐる—

＜パネルディスカッション＞

コメント 最寒冷期の森はいまどこにある？—北方植生のフィールド・ワークから—

＜会場＞

高知市文化プラザかるぽーと(大会議室)
JR高知駅に隣接する土佐電鉄「高知駅前」駅で電車で乗車、「はりまや橋」駅で下車。徒歩5分。

工藤雄一郎 (国立歴史民俗博物館)

百原 新 (千葉大学)

三宅 尚 (高知大学)

瀬戸口浩彰 (京都大学)

沖津 進 (千葉大学)

12月1日(日)

9:00-16:00 一般研究発表(口頭・ポスター) <会場>高知大学(高知市曙町2-5-1)※公開シンポジウム以外のプログラムには参加費が必要です。

主催:日本植生史学会 共催:高知大学

高知大学教育研究部自然科学系内 第28回日本植生史学会大会実行委員会
〒780-8520高知市曙町2-5-1 TEL: 088-844-8308

＜大会情報＞

大会のお問い合わせは、大会実行委員
(taikai_his@hisbot.jp)まで。
(QRコード: 学会webサイト <http://hisbot.jp>)

